

ライドシェア ドライバーに関する 調査結果報告

2024・04・11 Thu.

川邊 健太郎

調査概要

調査主体		紀尾井町戦略研究所株式会社	株式会社タイミー
期間		2024年1月31日	2024年3月4日-3月8日
方法		インターネット上でのアンケート Yahoo!クラウドソーシング利用	タイミーアプリ上でのアンケート
対象	特記	Yahoo!クラウドソーシング登録ユーザー 【サービス概要】 企業の課題「タスク」を、Yahoo! JAPAN ユーザーで解決するサービス 調査への回答など、タスクを実施すると 謝礼としてPayPayポイントがもらえる	タイミーアプリ利用ワーカー 【サービス概要】 空いた時間を有効活用したい人や すぐにお金を稼ぎたい人に 「働きたい時間と働いてほしい時間」 をマッチングするサービス
	地域	全国の18歳以上の男女	一都三県のいずれかを 仕事を探すエリアと設定している者を除く
	数量	1000人	1004人
	職業	契約社員・パート・アルバイト等：17.4% 会社員（正社員）団体（正職員）：35.6% 上記属性が回答者全体の50%以上	パート・アルバイト：31.0% 会社員（正社員）団体（正社員）：22.0% 上記属性が回答者全体の50%以上

調査結果サマリー

Yahoo!クラウドソーシング登録ユーザー
(18歳以上のヤフー利用ユーザー)

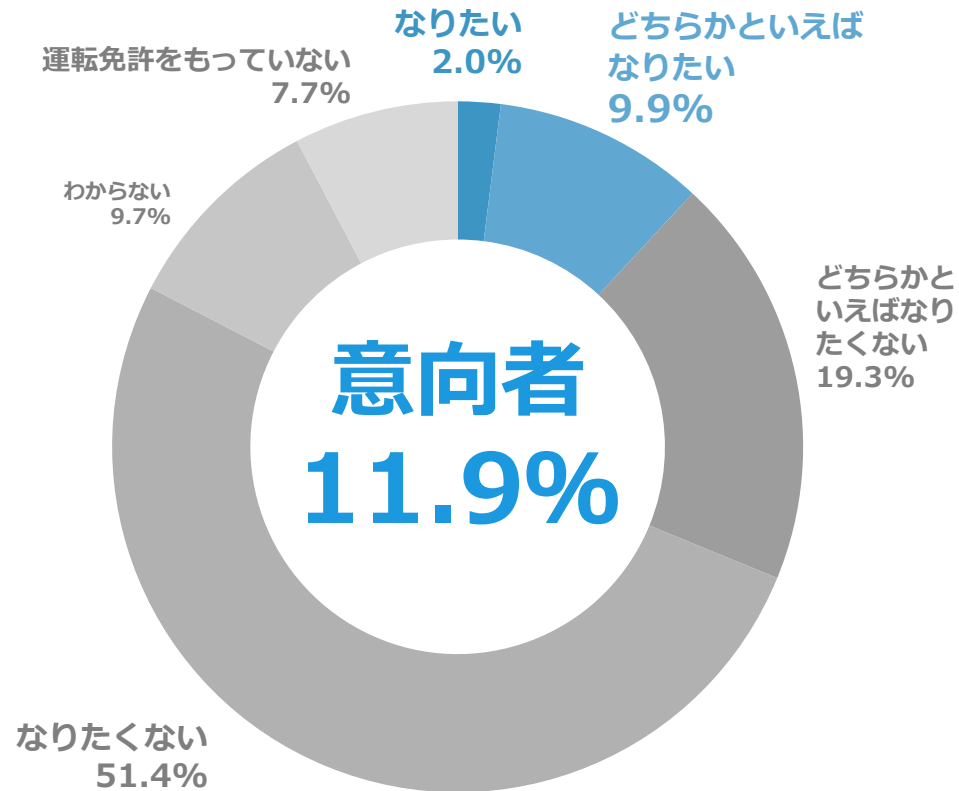
タイマーアプリ利用ワーカー
(スキマ時間での仕事を探している人)

ドライバー意向	11.9% なりたい+どちらかといえばなりたい	43.1% なりたい+どちらかといえばなりたい
なりたい理由	33.2% 追加で副収入への期待	82.0% 追加で副収入への期待
稼働時間の希望	57.3% 週10時間未満	65.1% 週10時間未満
主な収入源への意向	18.6% したい	25.6% したい
働き方	74.5% 都合の良いときに働ける時間的柔軟性重視	85.2% 自分の好きな時間に好きなだけ働きたい
収入の希望額	41.9% 10万円未満	70.4% 10万円未満

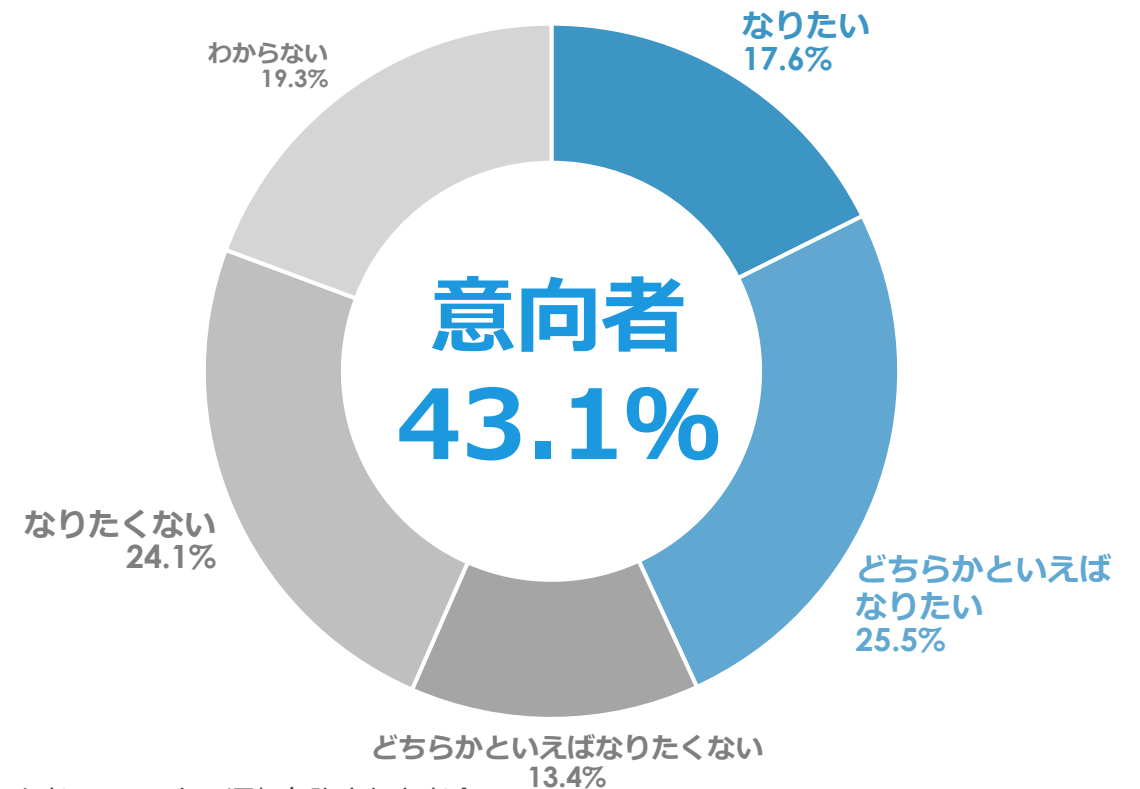
ドライバー意向割合

ヤフーユーザー（一般的）では意向者は少ない
隙間時間で仕事を探しているタイミーアプリ利用ワーカーでは意向者は多い

Yahoo!クラウドソーシング登録ユーザー
（18歳以上のヤフー利用ユーザー）



タイミーアプリ利用ワーカー
（スキマ時間での仕事を探している人）



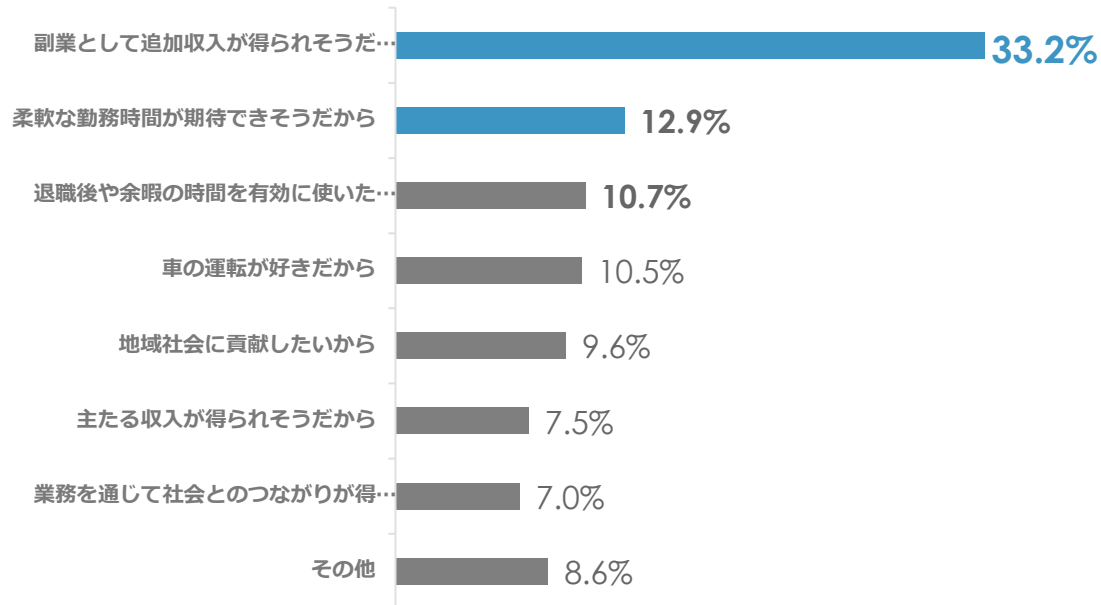
※意向者のうち8名は運転免許未保有者含む

次頁以降は
「ドライバー意向者」のみに対する調査結果

ライドシェアのドライバーになりたい理由

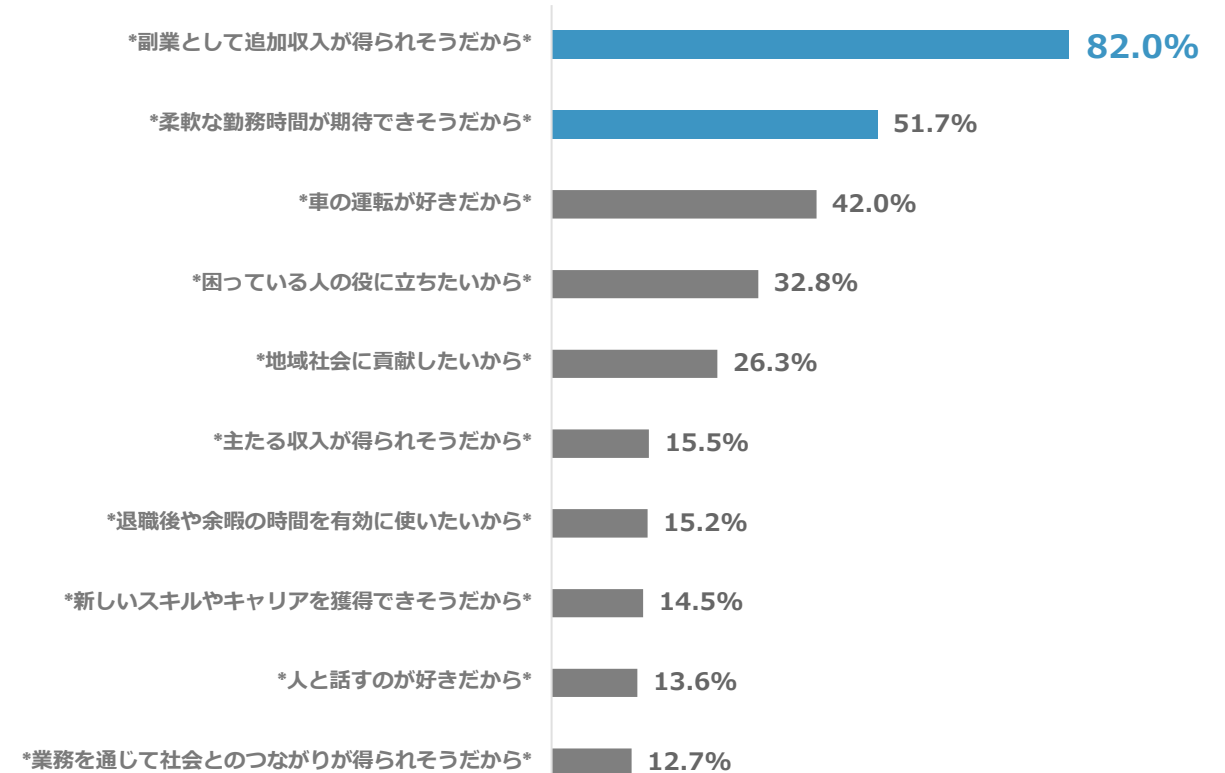
副業としての追加収入と柔軟な働き方が理由として圧倒的に多い

Yahoo!クラウドソーシング登録ユーザー (18歳以上のヤフー利用ユーザー)



タイミーアプリ利用ワーカー (スキマ時間での仕事を探している人)

複数回答



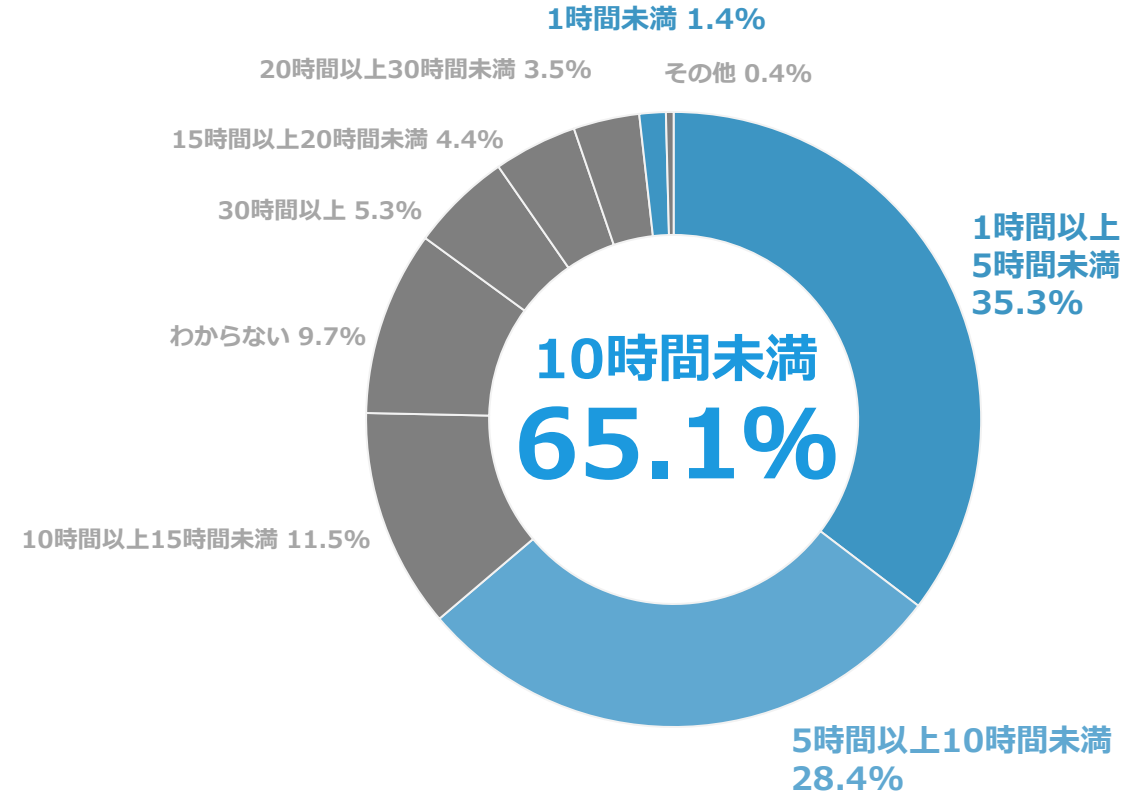
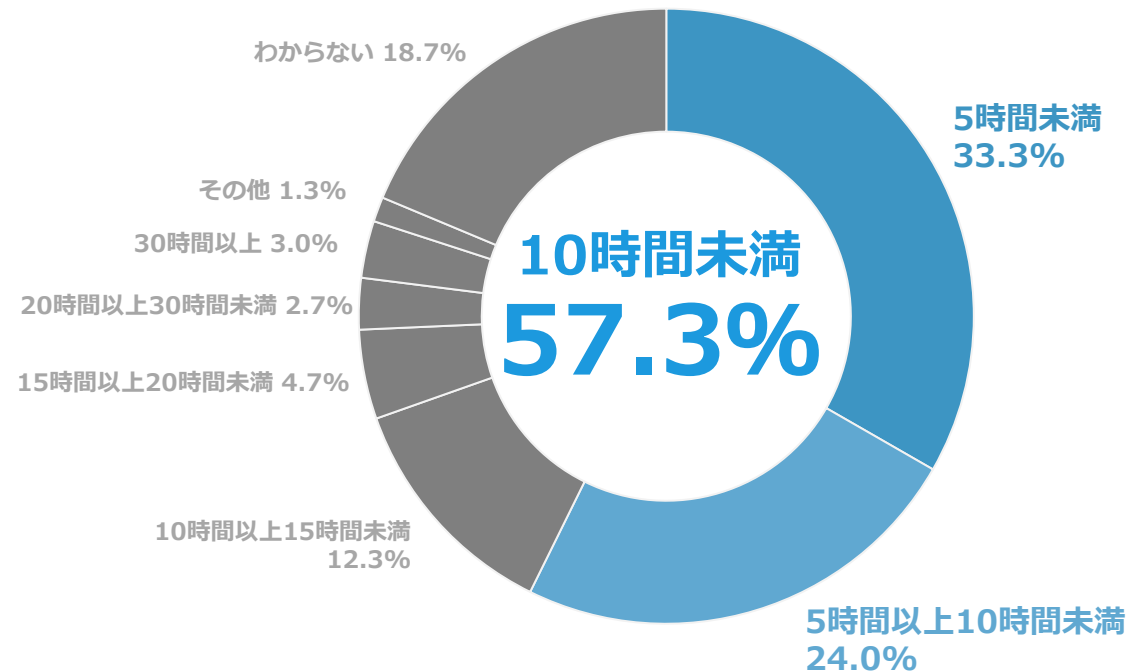
※意向者のうち8名は運転免許未保有者含む

週にライドシェアのドライバー業務に割く時間

週10時間未満の希望が過半を占めている事から副業想定だと推察

Yahoo!クラウドソーシング登録ユーザー
(18歳以上のヤフー利用ユーザー)

タイミーアプリ利用ワーカー
(スキマ時間での仕事を探している人)

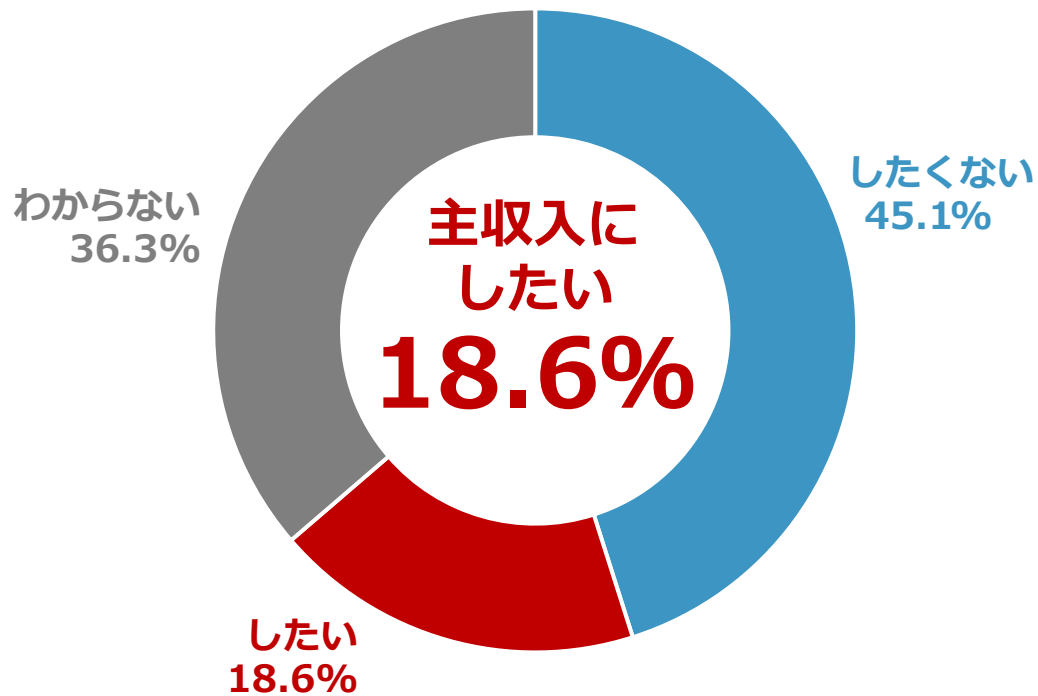


※意向者のうち8名は運転免許未保有者含む

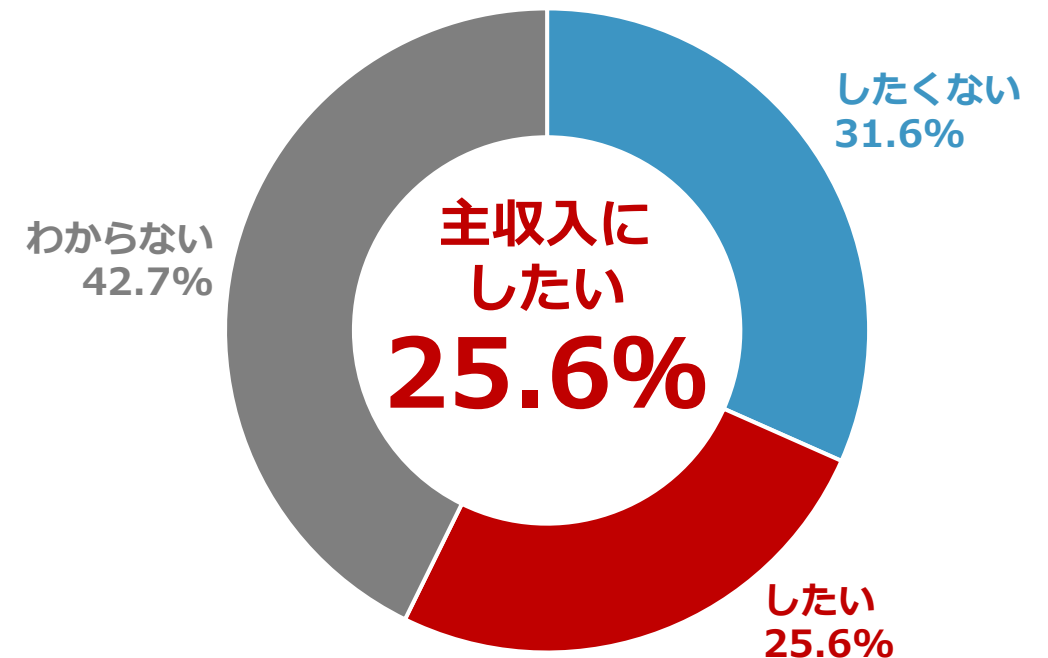
ライドシェアのドライバーを主な収入源にしたいか

主な収入源にしたいと考えている割合は少ない

Yahoo!クラウドソーシング登録ユーザー
(18歳以上のヤフー利用ユーザー)



タイミーアプリ利用ワーカー
(スキマ時間での仕事を探している人)

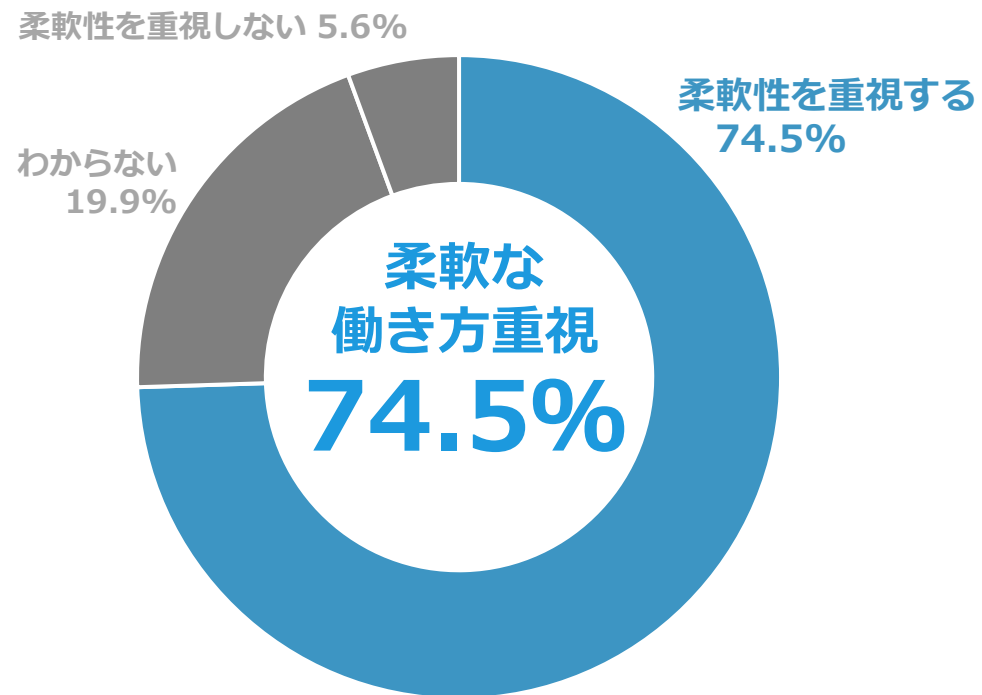


※意向者のうち8名は運転免許未保有者含む

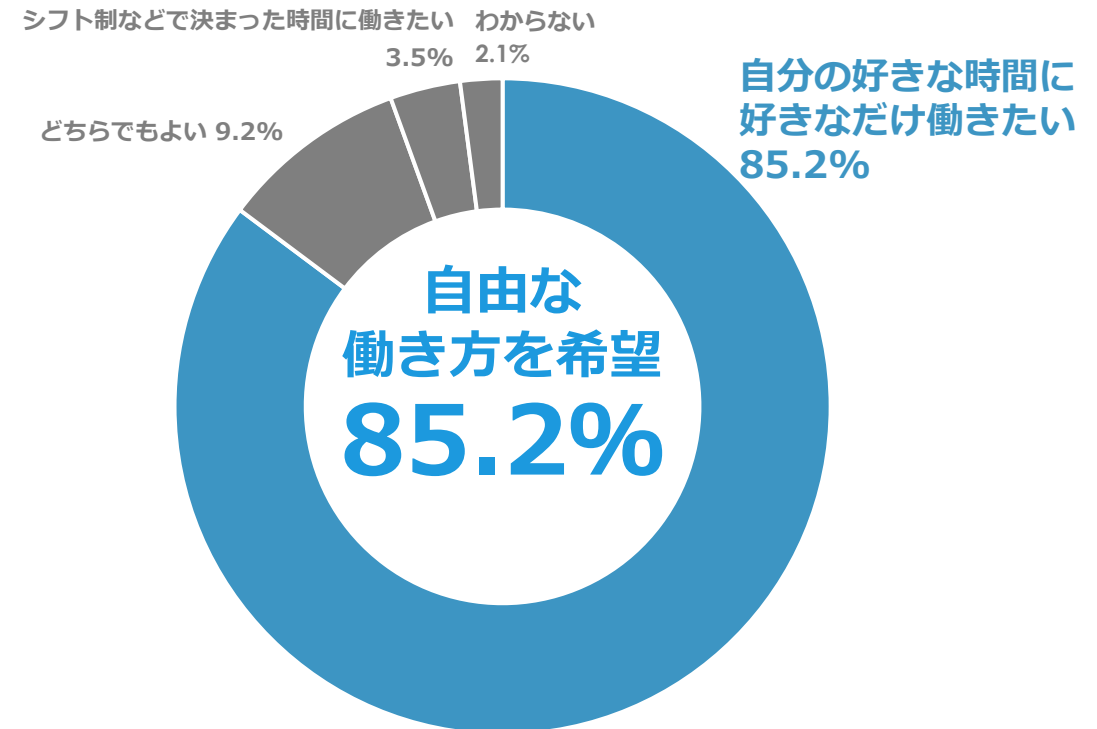
働き方 ① 「柔軟性や自由度」

自由に柔軟な働き方を希望する割合は圧倒的に高く重要な観点

Yahoo!クラウドソーシング登録ユーザー
(18歳以上のヤフー利用ユーザー)



タイミーアプリ利用ワーカー
(スキマ時間での仕事を探している人)

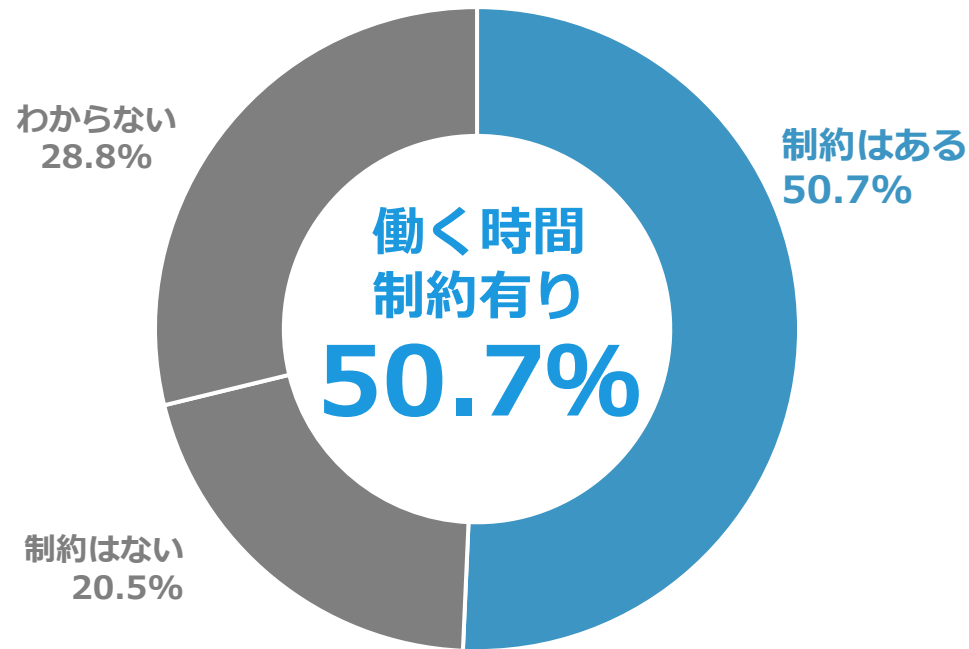


※意向者のうち8名は運転免許未保有者含む

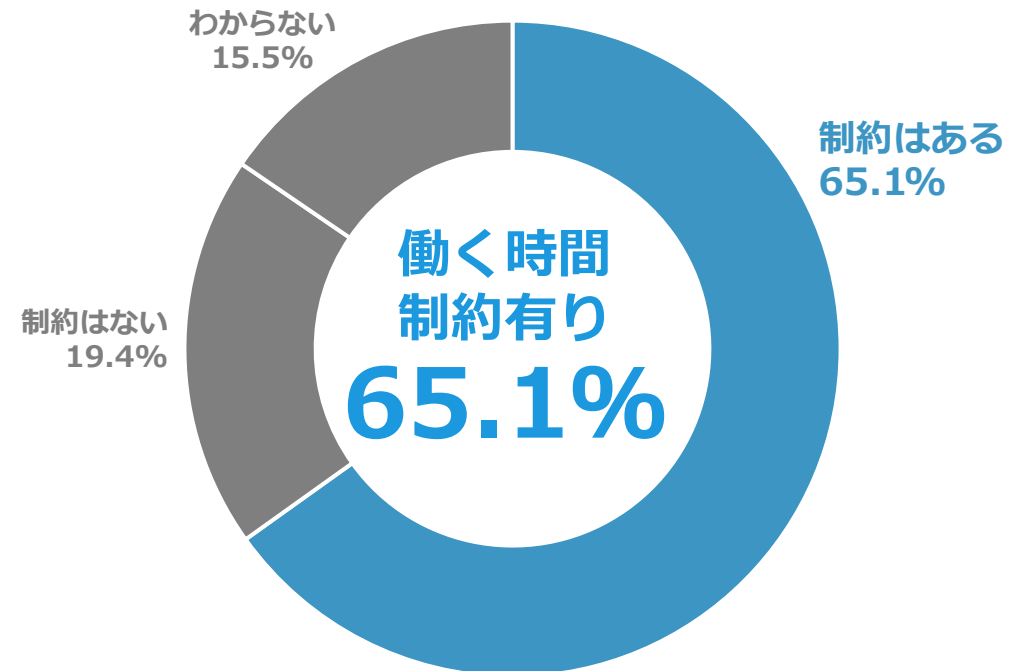
働き方② 「働く時間の制約」

主業務など諸事情で働く時間に制約がある割合が過半

Yahoo!クラウドソーシング登録ユーザー
(18歳以上のヤフー利用ユーザー)



タイミーアプリ利用ワーカー
(スキマ時間での仕事を探している人)

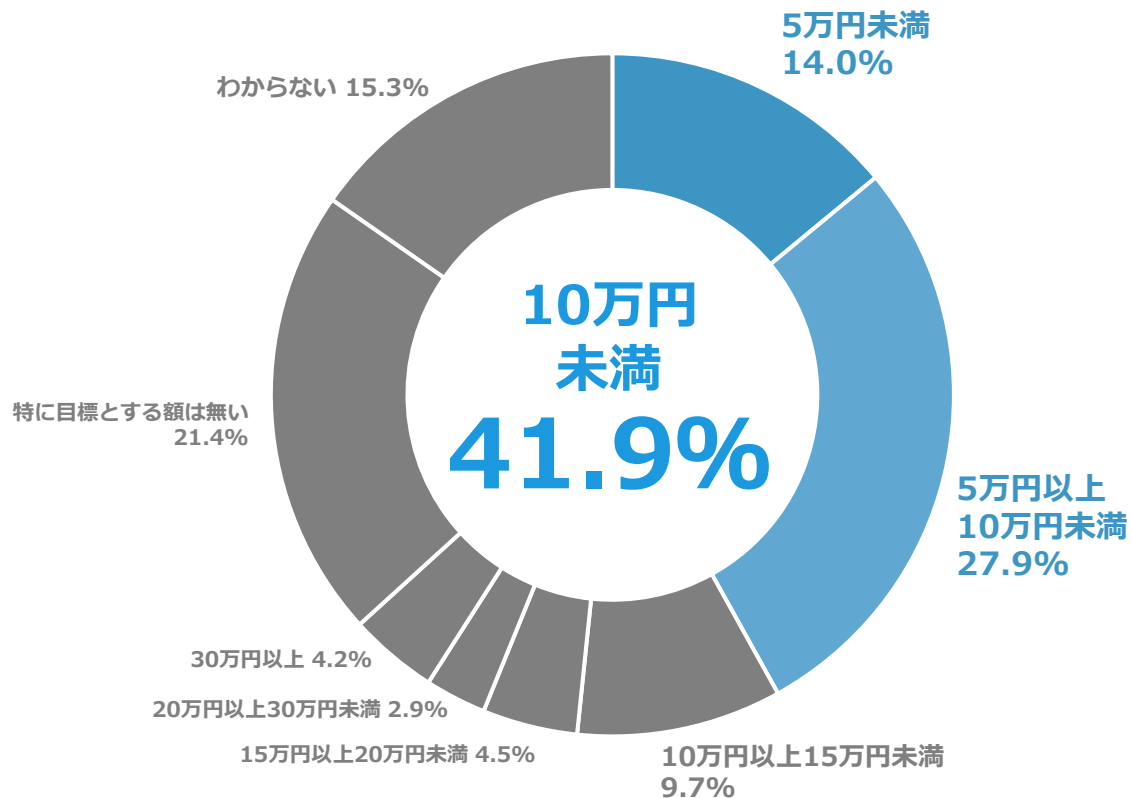


※意向者のうち8名は運転免許未保有者含む

目標とする月収

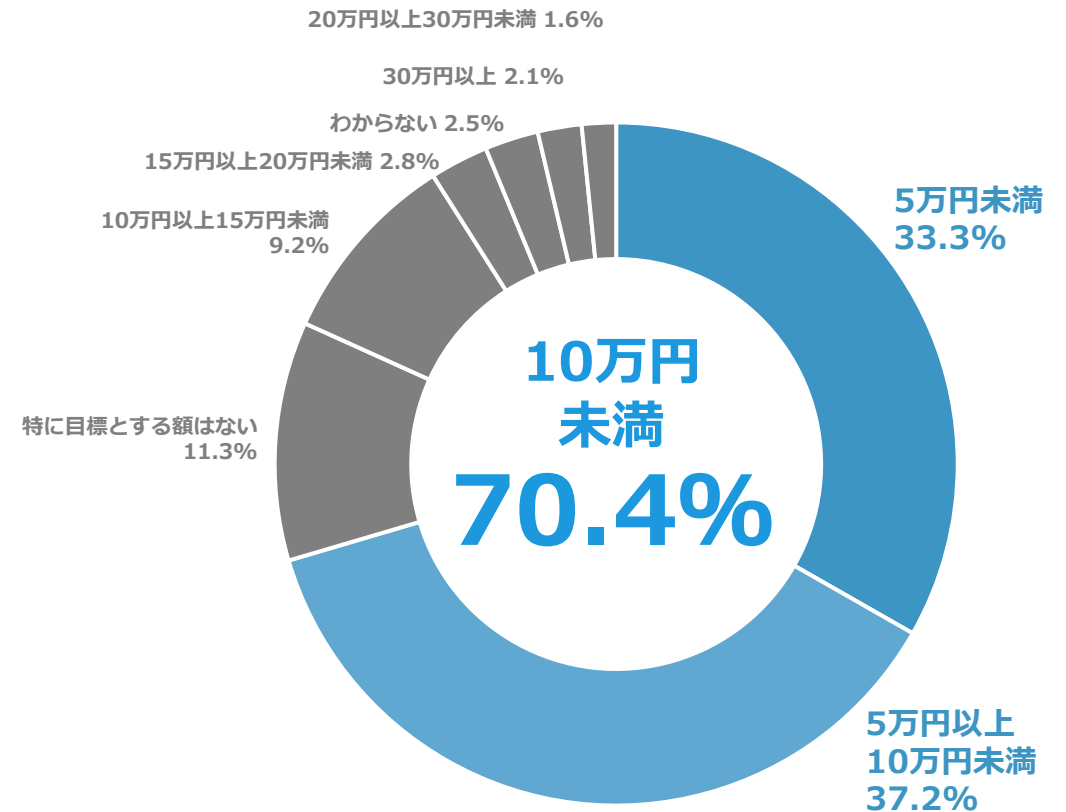
月収10万円未満で想定している割合が多く、主業務を目的にしていけないと推察

Yahoo!クラウドソーシング登録ユーザー
(18歳以上のヤフー利用ユーザー)



タイミーアプリ利用ワーカー
(スキマ時間での仕事を探している人)

※意向者のうち8名は運転免許未保有者含む

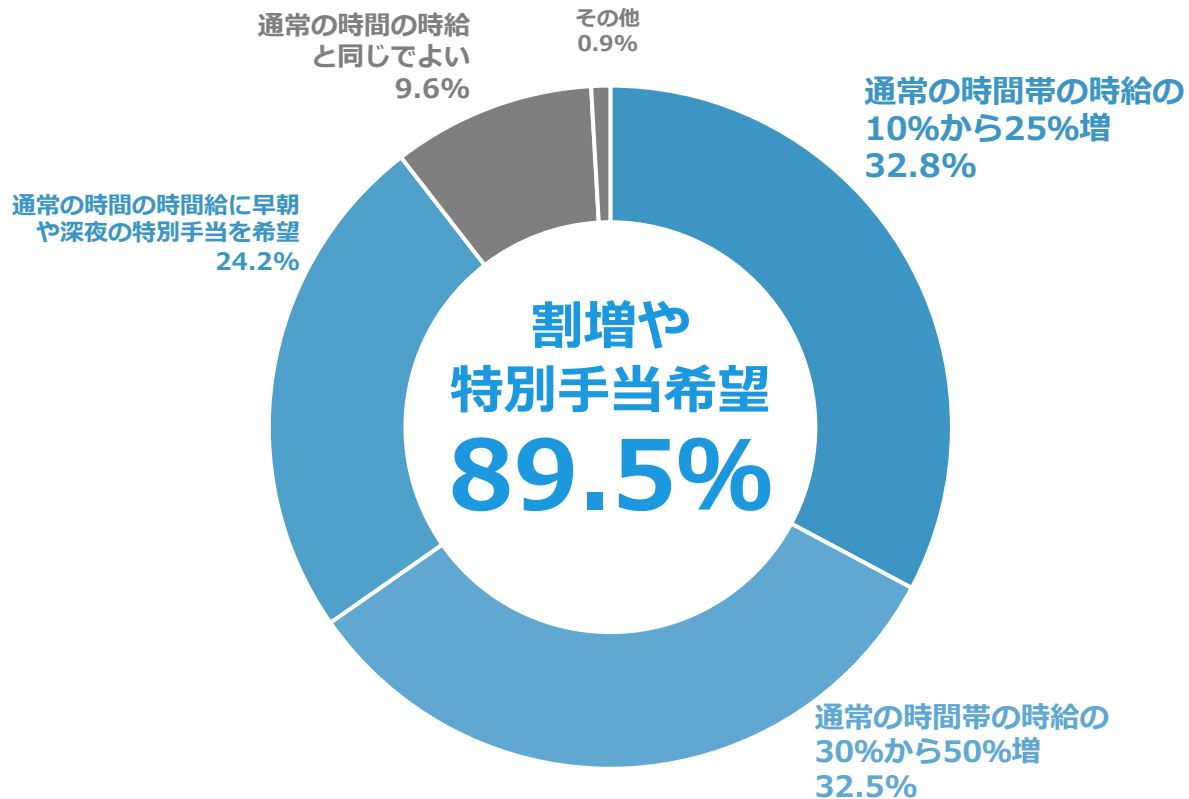


原則として小数点第2位で四捨五入しています
このため、合計と内訳の計は必ずしも一致しません

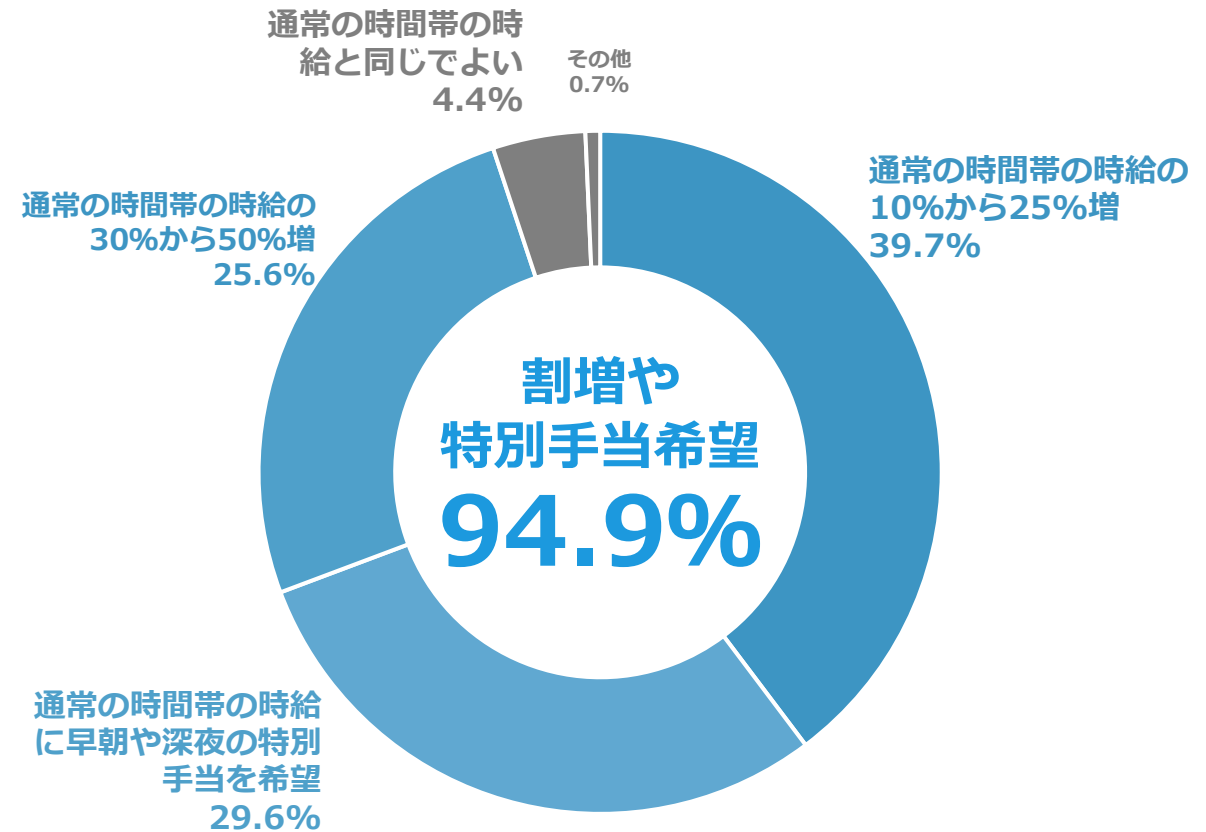
時間帯（深夜・早朝等）による賃金割増希望

深夜・早朝などの勤務では通常賃金より割増を希望する割が圧倒的

Yahoo!クラウドソーシング登録ユーザー
(18歳以上のヤフー利用ユーザー)



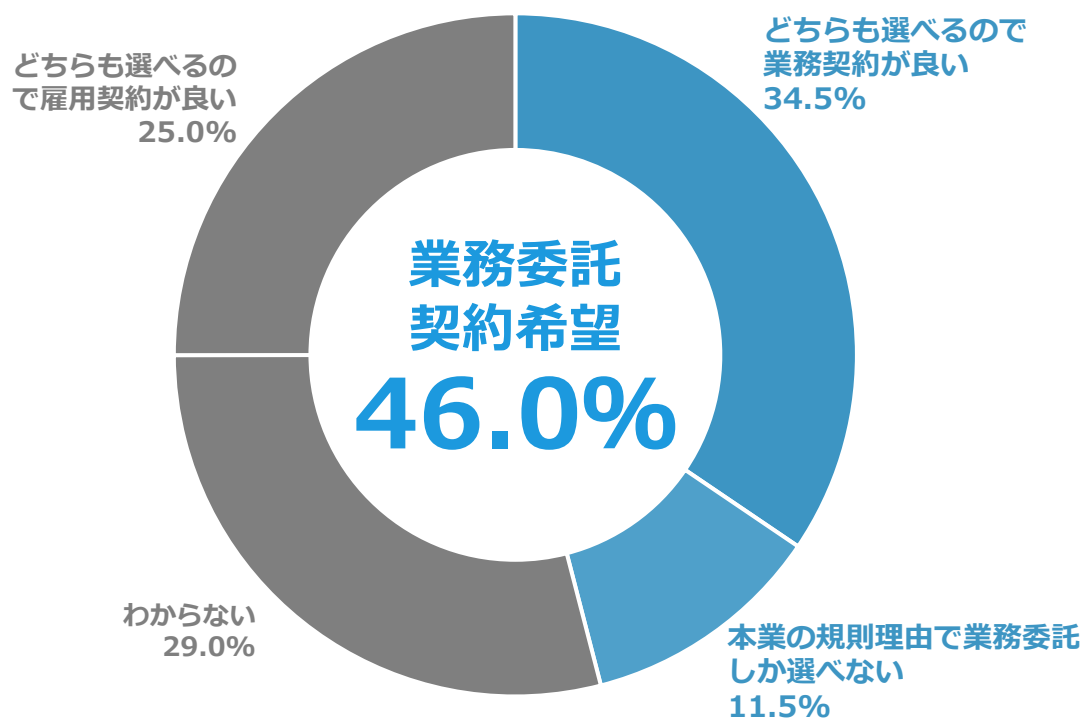
タイミーアプリ利用ワーカー
(スキマ時間での仕事を探している人)



※意向者のうち8名は運転免許未保有者含む

ドライバー意向者は業務委託を希望する割合が約半数 主業務の使用者側企業は、副業の形態は業務委託しか認めていない割合が半数以上

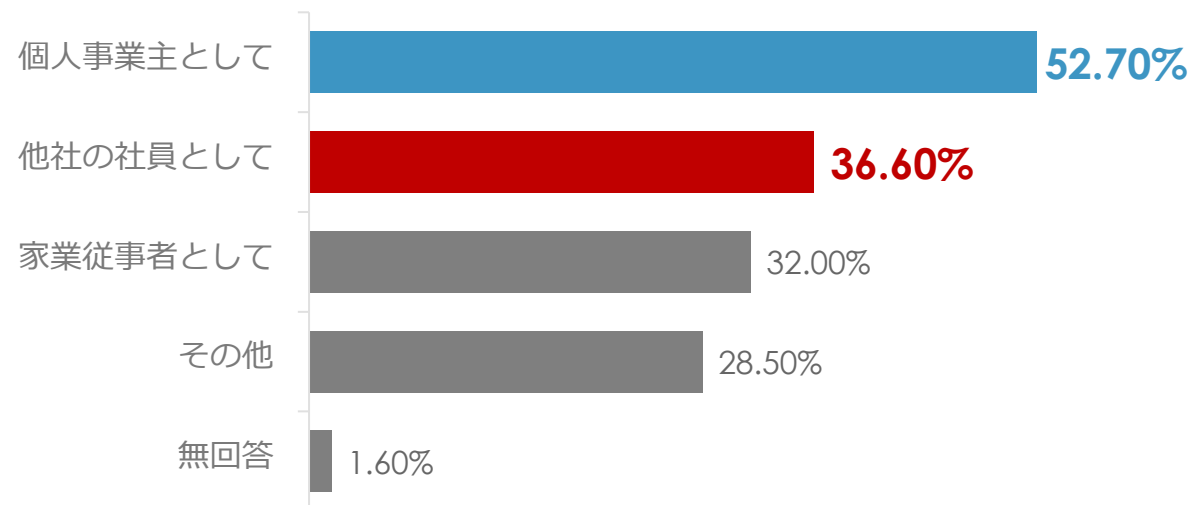
就業形態への希望



東京都 産業労働局：都内企業における
兼業・副業に関する実態調査（令和2年）

36.6%しか使用者側の企業は、副業形態で雇用は認めていない

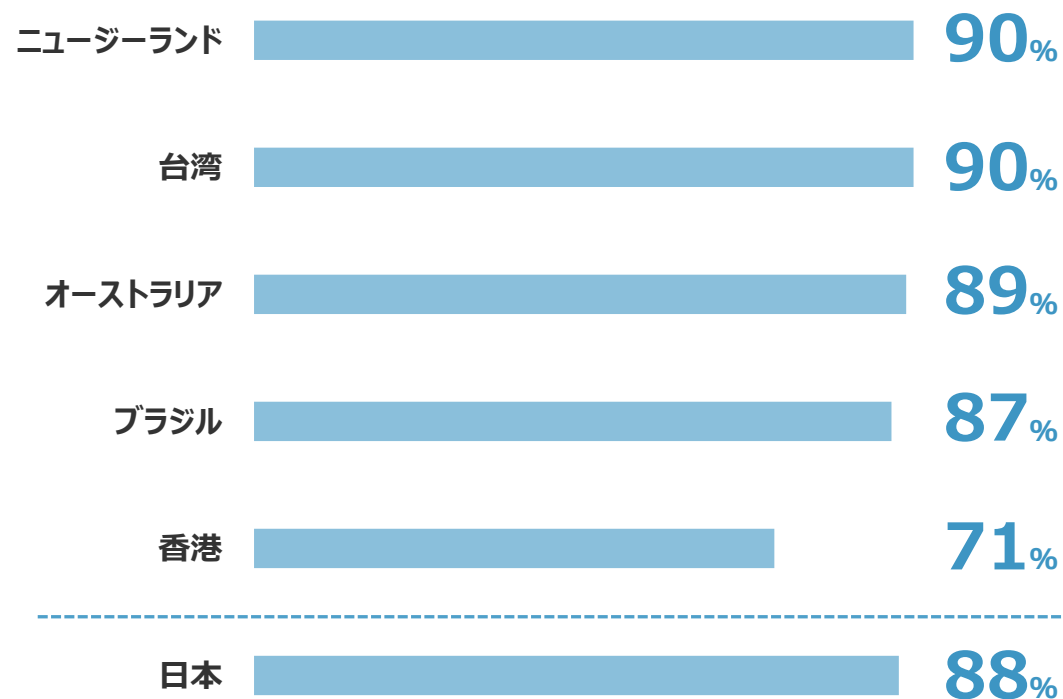
従業員の副業・兼業を認めている形態（複数回答）



(参考1)
Uber (海外) における働き方の意向調査

運転手 & 配達員は柔軟性の高い働き方へのニーズが高い
地域によっては**90%近く**の運転手 & 配達員が
シフト等で時間拘束される場合は、**継続は不可**と回答

求職時に働き方の柔軟性を重視する割合



働き方の柔軟性が損なわれた場合
運転手 & 配達員を継続しないと答えた割合



*1 [Environmental, Social, and Governance Report](#) (Uber2023年ESGレポート) *2 [Uber Earner Preferences Australia Methodology](#), 2022 Ipsos
*3 [Uber Driver & Delivery Partners' Preferences New Zealand](#), 2023 Ipsos *4 [App-Based Driver Survey](#), 2020 Benenson Strategy Group and GS STRATEGY GROUP

(参考2)

2024年3月4日 日本経済新聞 朝刊 3面
「敢えて非正規 若者で拡大」

望んで非正規社員になった人10年間で14万人増加 「自分の都合の良い時間に働きたい」31.9%、10年間で10.6P上昇

「敢えて非正規」若者で拡大

「やむを得ず」は半減

“10年で14万人増”

(記事概要)

都合の良い時間に働きたいとして非正規になった人は10年前より14万人増えた

「正規の職がない」ことを理由にした非正規は半減

正社員にこだわらない働き方にあった処遇や、社会保障の制度設計が必要

23年の調査で非正規として働く25～34歳は237万人で、13年に比べ64万人減少

このうち「正社員の仕事がない」と答えたのは30万人と、54万人減少

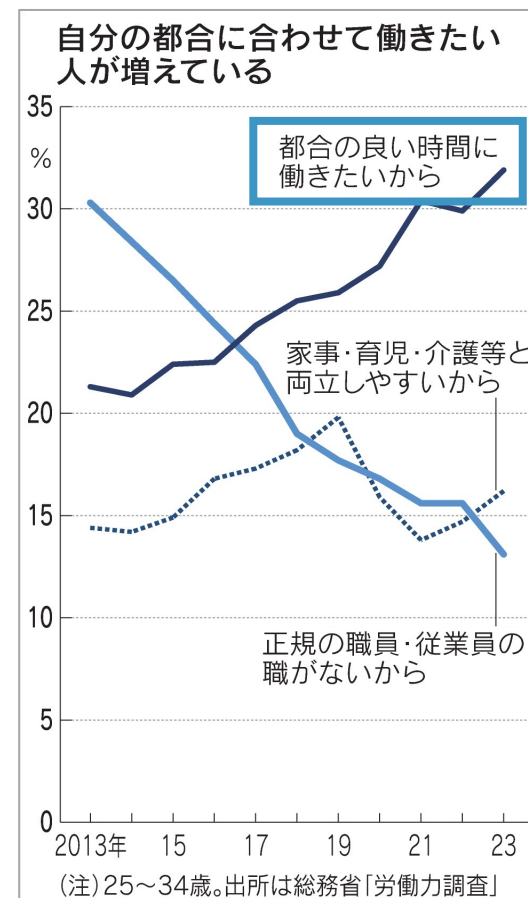
非正規で働く理由を回答した人の比率では23年に13.1%と、半分以下になった。

一方、理由として増えたのが「自分の都合の良い時間に働きたい」との回答

23年で31.9%と、13年と比べて10.6ポイント上がった

「正社員の仕事がない」という回答者は23年は13.1%、10年前の半分以下

全ての世代で、やむを得ず非正規となった人は減少、10年前より145万人減少



東京都サービス開始に関する報道や反響

※2024年4月8日時点

不足車両数に対してドライバー稼働人数は不安 ドライバーの報酬については良好

営業区域ごとの不足車両数

特別区・武三 特別区、武蔵野市、 三鷹市 (26,983台)	車両数が不足する曜日 及び時間帯 (最小マッチング率)		不足 車両数
	月-金	07時台~10時台 (78%)	1780 台
	金・土	16時台~19時台 (85%)	1100 台
	土	00時台~04時台 (66%)	2540 台
	日	10時台~13時台 (88%)	0270 台

初日の状況

共同通信社 4/8(月) 9:08配信記事より引用

4月8日東京都でサービス開始

東京ハイヤー・タクシー協会によると
8日午前は80人程度が稼働可能な状況
午前9時前までに約50件の利用

ヤフーリアルタイム検索にて調査

4月8日東京都で運行した結果

実質利益より割り戻すと、時給1800円台という投稿あり

最後に

移動課題を解決する為の“**制度の成功の鍵**”は
「自由な働き方の実現」と「徹底した安全規制」を両立し
それをデジタル主導で遠隔管理含めて実施していく事

これらが制度として満たされていない場合
数万人のドライバーを集めることは、難しいのではないのでしょうか？

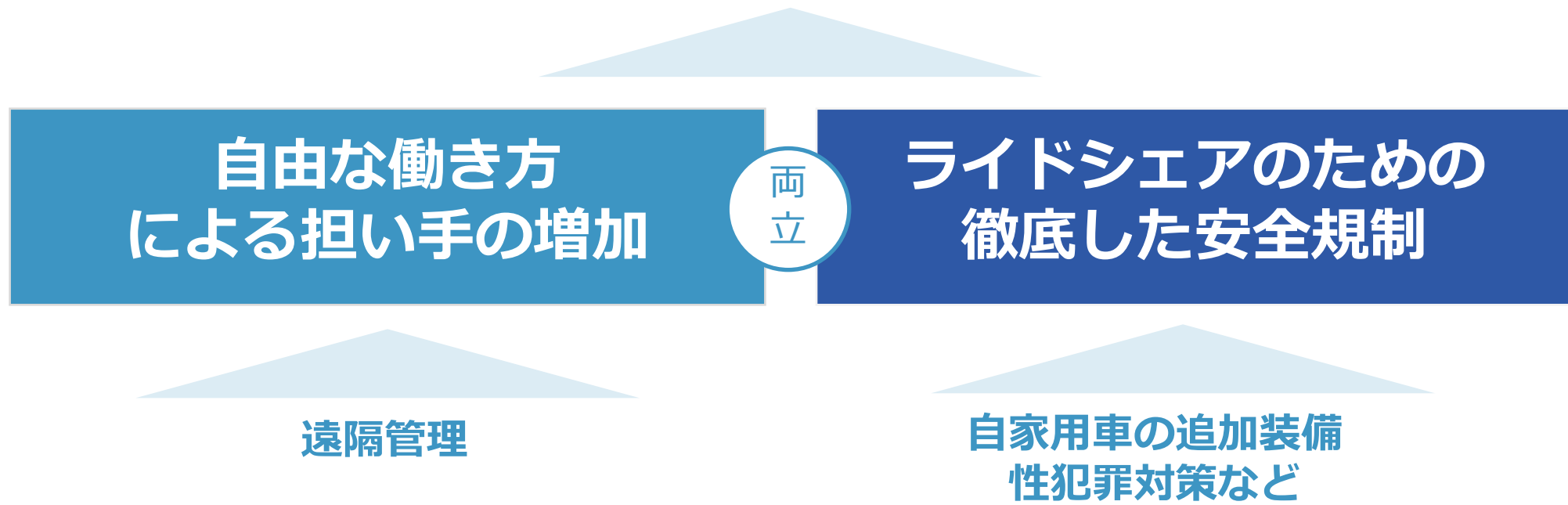
2010年からのタクシードライバーの減少数は約16万人です

**今の制度におけるドライバー確保の状況を踏まえた
現実を直視した議論と検討が必要と考えます**

E O P

appendix

安全に移動難民を解消
(消費者利益の確保)



デジタル主導の遠隔による安全規制
* タクシー規制の「アナログ管理」とは異なる